



如 月

Kid's★garden

いたるところに春の気配を感じる今日この頃です。門松に使ったネコヤナギがそのまま猫のしっぽのような花穂を膨らませています。挿し木で根付かせようとしていますが、さて上手くいくかな？ 春の進学や進級に向けて子ども達や保護者のみなさんも同じように期待に胸を膨らませているのではないのでしょうか。また、これといった大きな節目でなくとも気の持ちよう一つで景色は変わって見えますよね。もう少し暖かくなってきたら、今できる新しい事を見つけませんか！我々大人は折に触れ過去と比較して現在を語ってしまいがちですが、子ども目線で考えてみると、その比べる過去もそんなにありません。今をもっと楽しくして行くことにシフトしていきませんか。“やればできる！” by ティモンディ 高岸(笑)

『我が家の子育て⑩』 廣田家編 あじさい組

『我が家には、5歳の長男（Mダックスの犬）、4歳の長女（あじさい組）と2歳の次男がいます。

長女も次男も、産まれた時から毛むくじゃらの長男にお世話をされています。幸い兄妹仲良く、いつも一緒に遊んでいます。

兄にオモチャをかじられるので、お片付けを覚えまし、週末は兄の好きな公園に出かけ、自然との触れ合い方を学んでいます。

長女の最近のブームは、憧れの先生方の真似を兄に披露する事です。

兄は、お昼寝タイムの真似（布団をかけられてお腹をトントン強めに叩かれる）も我慢して付き合ってくれています。

子供達がもう少し大きくなって、赤ちゃんの頃から犬と一緒に過ごした幼少期を振り返ってくれたときに、どんな感想がかえってくるのかだけを楽しみに、騒がしい毎日を送っています。』

保育でヨガ【あじさい組（3歳児）】 毎週金曜日に、体操の佐藤たえ子先生が来てくれます。いつも元気なシャキシャキの江戸っ子です（笑）あまりの勢いに、はじめは押され気味になってしまう子もいますが、可能性を信じ、いつも子ども達に真正面からぶつかっていくたえ子先生の思いが伝わって、いつの間にかみんな大好きになってしまいます。そんな たえ子先生、実はヨガのインストラクターでもあります。先日、あじさい組さんの体操の時間を見学させていただきました。今、ヨガに取り組む保育園が増えていて、奏の杜園でも体操の一環として取り入れています。

呼吸に集中することにより、子ども達は集中力や自己認識力を高める効果があります。子ども達が自然に集中してヨガに取り組む姿をみなさんにも是非見てもらいたいです♪



楽しい→夢中→もっと・どンドン→ぐんぐん
1月の中旬ふじ組さん（2歳児）にいます、男の子が「サンタさんが来たの！」と嬉しそうに話してくれました。またよく、「ディズニーランドに行ったのー」とずっと前に行った事を昨日のこのように話す子がいます。これは、楽しいことは記憶の保持・再生力を上げ、時間軸が短い子ども達にとっては、数日、数か月前のことであっても、昨日のこのように鮮明に覚えているから起こる事です。“楽しい”にはそんな素晴らしい効果があります。子育てに於いて大きなヒントになると思いませんか。日々の生活の中で、子ども達の“楽しい”気持ちを膨らませてあげる声掛けをしてみてください！

【2月スケジュール】

- 2（火）豆まき
- 3（水）ZOOM個人面談開始
- 9（火）避難訓練
- 15（月）誕生会（かりん）
- 16（火）誕生会（ふじ・ひのき）
- 18（木）誕生会（あじさい・けやき）
- 25（木）マラソン大会

※2/4（木）に予定していた発表会は3/11（木）に延期とさせていただきます。

- 【月】 課外英語（けやき組）
- 【火・水】 午後／ピアノ個人レッスン
- 【水】 午前／英語
- 【金】 午前／体操
午後／課外新体操、キッズダンス

【編集後記】この春卒園のけやき組さんの部屋では“保育園で過ごせるのはあと〇〇日！”のカウントダウンが始まりました。担任に声を掛けると、「寂しいです」と。私も例年以上にそう感じています。もっとみんなと一緒に過ごしたい気持ちで一杯です。しかし、子ども達の成長は待たないなので、そうも言っていられません。そんな我々の思いを知ってか知らずか、けやき組で過ごしていると「小学校に入ったなら一人で学校に行くんだ！」「〇〇ちゃん、（〇〇くん）と一緒に小学校なんだ！」とか、「お引越して、新しいお家が楽しみ～♪」なんて声もあり、子ども達の目線は未来に向かっていきます。そんなあと限られた園生活をより充実したものにしていきたいと職員一同日々試行錯誤です。そして今年度はまだ、発表会という大きな行事が控えています。2階ホールには例年と変わらず舞台も設置してあります。発表会は練習から始まっています。限られた環境下ではありますが、子ども達は精一杯楽しく、真剣に練習しています。その姿から逆に元気と勇気もらっています。どんな環境下でも、子ども達には“思いやり”を持ち“遅い”子に育って欲しいと望んでいます。その心配も要らないようです。園長 拝